



平成 23 年 4 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社 ブロッコリー
代表者名 代表取締役社長 森田 知治
(JASDAQ コード 2 7 0 6)
問合せ先 取締役管理本部長 渡邊 朋浩
(TEL 03 - 5372 - 6322)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成23 年 2 月期におきまして、下記のとおり特別損失が発生いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

また、平成23年 2 月期通期（平成22年 3 月 1 日～平成23年 2 月28日）の業績について、平成23 年 1 月12日付の第 3 四半期決算短信で発表した予想から業績予想を修正いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

特別損失の発生及びその内容

平成 23 年 3 月 30 日付「リテール部門の事業譲渡に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、当社は、平成 23 年 3 月 30 日開催の取締役会において、平成 23 年 6 月 1 日をもって株式会社アニメイトに対し、リテール部門を譲渡することを決議いたしました。

当該事業譲渡に伴い発生すると見込まれる損失 420 百万円を、平成 23 年 2 月期において事業譲渡損失引当金繰入額として特別損失に計上いたします。

業績予想の修正

平成 23 年 2 月期 業績予想との差異

(1) 通期 (平成 22 年 3 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	10,101	179	167	110	3円37銭
今回修正 (B)	10,512	272	262	△182	△5円57銭
増減額 (B-A)	411	93	95	△292	—
増減率 (%)	4.1	51.9	57.4	△265.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 2 月期)	9,554	△339	△345	△283	△16円74銭

(2) 修正の理由

売上高につきましては、エンターテインメント部門におきまして、自社グッズの売上が好調であったこと、自社トレーディングカードゲームも堅調であったこと、ゲーム部門新規コンテンツの関連自社 CD が好調であったことなどにより卸売の売上高が増加し、リテール部門におきましても、新作映像商品とその派生商品 (CD・グッズ等) への波及効果を主要因としました店舗売上高の好調と、前事業年度において大きく売上減となっておりました通信販売部門の売上高が復調したことにより増加しました。その結果、通期の売上高は 10,512 百万円 (前回予想比：+411 百万円) となりました。

営業利益につきましては、上記要因による売上高の増加や、商品仕入の厳正化・在庫の圧縮によるたな卸資産に対する評価損が減少したことなどに伴い売上総利益が増加したこと、経費圧縮を推し進めたことにより、販売費及び一般管理費が減少したことが主な要因となり、272 百万円 (前回予想比：+93 百万円) となりました。

経常利益につきましては、上記要因により、262 百万円 (前回予想比：+95 百万円) となりました。

当期純利益につきましては、上記のとおり、当事業年度末において特別損失 420 百万円などを計上し、△182 百万円 (前回予想比：△292 百万円) となりました。

なお、当期純利益は、△182 百万円となりましたが、営業利益及び経常利益の黒字回復により、現金及び預金につきましては、484 百万 (前年同期比：+382 百万円) となりました。

以 上